

休業指示の目安

項目	薬剤	内容			
①MRCP	貼付剤全て	検査時に剥がす。検査後に貼付する1回分を持参するよう伝える。			
	テトラサイクリン系抗菌薬	検査前及び検査後3時間以上空ける			
	ニューキノロン系抗菌薬	検査前及び検査後3時間以上空ける			
	セフジニル	検査前及び検査後3時間以上空ける			
②MRI	貼付剤全て	検査時に剥がす。検査後に貼付する1回分を持参するよう伝える。			
③ヨード造影検査	ビグアナイド系糖尿病薬（メトグルコ、メタクトなど）	検査前2日間～検査後2日間（計5日間）の休業。			
③脳槽・脊髄造影	フェノチアジン系抗精神病薬	検査前2日間～検査後1日間（計4日間）の休業。			
④出血低リスク	抗血小板薬	休業をする必要がないこと、自己判断で薬を止めると血栓症のリスクが高まることを伝える。			
	抗凝固薬				
⑤出血高リスク			手術 ^⑧	低梗塞リスク ^⑨	高梗塞リスク ^⑩
	アスピリン（バイアスピリン、バファリン、タケルダなど）	手術・検査日を0日として、右の期間休業 自己判断で薬を止めると血栓症のリスクが高まることを伝える。	7～14日	3～5日	-
	クロビドグレル（プラビックス）		7～14日	5～7日	5日前に休業し、アスピリンまたはシロスタゾールの単剤にする
	プラスグレル（エフィエント）		7～14日	5～7日	
	チカグレロル（ブリリンタ）		5日	5～7日	
	チクロピジン（パナルジン）		7～14日	5～7日	
	シロスタゾール（プレタール）		3日	1日	-
	サルボグレラート（アンブラーグ）		1～2日	1日	1日
	イコサセント酸エチル（エパデール）		7～10日	1日	1日
	リマプロストアルファデクス（オバルモン）		1日	1日	1日
	イブジラスト（ケタス）		3日	1日	1日
	トラビジル（ロコルナール）		2～3日	1日	1日
	ジラゼブ酸（コメリアン）		2～3日	1日	1日
	ニセルゴリン（サアミオン）		2～3日	1日	1日
	トリメタジジン（バスタレルF）		2日	1日	1日
	イフェンプロジル（セロクラール）		1～2日	1日	1日
	ベラプロストナトリウム（ドルナー、プロサイリン、ケアロード）		1日	1日	1日
	ジピリダモール（ベルサンチン）		1～2日	1日	1日
	ワルファリン（ワーファリン）		3～5日	1日	1日
	アピキサバン（エリキュース）		Ccr30mL/分以上： 24時間、15～29： 36時間	当日朝から中止、翌日朝から再開	
リバーロキサバン（イグザレルト）					
エドキサバン（リクシアナ）					
ダビガトラン（プラザキサ）	Ccr80mL/分以上：24時間、50～79：36時間、30～49：48時間	当日朝から中止、翌日朝から再開			
⑥血栓リスクあり	レボノルゲストレル・エチニルエストラジオール（トリキュラーなど）	手術 28 日前から休業（検査日0日として）			
	デソゲストレル・エチニルエストラジオール（マーベロンなど）	手術 28 日前から休業（検査日0日として）			
	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール（ルナベルなど）	手術 28 日前から休業（検査日0日として）			
	ドロスピレノン・エチニルエストラジオール（ドロエチ、ヤーズなど）	手術 28 日前から休業（検査日0日として）			
	ノルゲストレル・エチニルエストラジオール（プラノバル）	手術 28 日前から休業（検査日0日として）			
	ラロキシフェン（エビスタ）	手術 3 日前から休業（検査日0日として）			
バゼドキシフェン（ビビアント）	手術 3 日前から休業（検査日0日として）				
⑦乳酸アシドーシス・ケトosisリスクあり	メトホルミン（メトグルコ、メタクトなど）	手術 2 日前から休業（検査日0日として）			
	ブホルミン（ジベトス）	手術 2 日前から休業（検査日0日として）			
	SGLT2阻害剤（フォシーガ、デベルザ、ジャディアンス、ルセフィなど）	手術 3 日前から休業（検査日0日として）			

休業例 手術・検査日が10月1日で、7日間休業する場合は9月24日の朝から休業する。
手術・検査日が10月1日で、2日前から休業する場合は9月29日の朝から休業する。